



2022年5月11日

各 位

会 社 名 京福電気鉄道株式会社
 代表者名 代表取締役社長 大塚 憲郎
 (コード番号 9049 東証スタンダード市場)
 問合せ先 取締役管理部長 藤木 斉
 (TEL 075-841-9385)

特別損失の計上、通期連結業績と前期実績との差異 及び剰余金の配当（無配）に関するお知らせ

当社は、2022年3月期の連結決算において、下記のとおり、特別損失を計上いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明であり、事業活動の先行きが見通せない状況を踏まえ2022年3月期の通期連結業績予想を未定としておりましたが、本日「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました通期連結業績と前期実績に差異が生じました。加えて、本日2022年5月11日開催の取締役会において、2022年3月31日を基準日とする期末配当(無配)について決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（減損損失）の計上

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、レジャー・サービス業の水族館業において来館者数の減少により収益性が著しく低下した状態が継続したため「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失197百万円を計上いたしました。また、保有する運輸業用資産の一部等についても減損損失を計上いたしました。

これらにより、当連結会計年度におきまして減損損失257百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 通期連結業績と前期実績との差異について

(1) 2022年3月期通期連結業績と前期実績との差異（2021年4月1日～2022年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 10,448	百万円 △338	百万円 128	百万円 △338	円 銭 △170 28
当期実績値 (B)	11,603	500	883	673	339 05
増減額 (B-A)	1,154	839	755	1,012	
増減率 (%)	—	—	—	—	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年増減率は記載しておりません。

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染症拡大以前の売上水準を大幅に下回る極めて厳しい経営状況が依然として継続しているものの、前期と比較して緩やかながら回復基調で推移した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前期実績を上回りました。

3. 剰余金の配当について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に取り組むため、資産効率の改善を図り、収益力の向上を進めることを基本方針としております。新型コロナウイルス感染症の影響など先行きが見通せない状況が継続している中、内部留保資金の充実を図り経営の安定化に備えることが、企業価値の向上につながるものと考えた結果、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配とさせていただく予定です。

	決定額	直近の配当予想 (2022年2月4日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金	0円00銭	未定	0円00銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

以 上